



「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより

令和7年3月14日 No. 26

6年生の教室で授業をしました。



6年生の国語の教科書には「生きる」という詩が掲載されています。もう何年も昔から載りつづけている作品ですので、おそらく保護者の方も「あ、この詩は見たことがある」という気持ちになるのではないかと思います。この詩で2時間、6年生と勉強するチャンスを担任の先生からもらいました。

6年生のこの卒業前のタイミングで、「生きる」というテーマについて考える機会をもつことには大きな意味があると思います。「生きているということはどういうことなのだろうか」と作者の谷川俊太郎さんが読者に語りかけてきているわけですから、まずは「それに答えていかなくては」という気持ちになってもらいました。そして子どもたちは一生懸命に考え、自分の思いを語っていくことができました。最終的にはどちらの教室でも「生きているってすばらしい」「生きているって尊い」という「今自分が当たり前に行えることのすばらしさ」に目を向けることができたと思います。

